

第 9 期 決算公告（令和 5 年 3 月期）

令和 5 年 7 月 7 日掲載

東京都港区六本木 7 丁目 15 番 7 号

クラウドバンク・フィナンシャルサービス株式会社

代表取締役 金田 創

【貸借対照表】 (単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 41,847,201 】	【流動負債】	【 41,502,861 】
現金及び預金	3,358,180	短期借入金	158,271
立替金	3,630	関係会社短期借入金	490,000
前払費用	616	匿名組合預り金	40,246,663
未収収益	37,595	預り金	46,940
関係会社未収収益	214,540	仮受金	45,029
関係会社未収入金	238,098	未払金	1,778
匿名組合貸付金	37,288,886	関係会社未払金	435,321
短期貸付金	249,200	未払費用	5,745
関係会社短期貸付金	456,577	関係会社未払費用	44,241
その他	81	未払法人税等	28,870
貸倒引当金（個別）	△ 204	負債の部合計	41,502,861
【固定資産】	【 10,575 】	純資産の部	
（有形固定資産）	（ 5,874 ）	科 目	金 額
建物附属設備	18,920	【株主資本】	【 354,916 】
工具、器具及び備品	4,343	【資本金】	【 40,000 】
減価償却累計額	△ 17,390	【資本剰余金】	【 21,000 】
（投資その他の資産）	（ 4,701 ）	（資本準備金）	（ 21,000 ）
関係会社出資金	10	【利益剰余金】	【 293,916 】
敷金	1,800	（その他利益剰余金）	（ 293,916 ）
繰延税金資産	2,891	繰越利益剰余金	293,916
		純資産の部合計	354,916
資産の部合計	41,857,777	負債・純資産の部合計	41,857,777

個別注記表

クラウドバンク・フィナンシャルサービス株式会社

(重要な会計方針)

1 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

減価償却の方法、及び、主な耐用年数は次のとおりです。

建物附属設備	：定額法	5 年
工具、器具及び備品	：定率法	4 年

2 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸し倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

3 収益及び費用の計上基準

当社が帰属するクラウドバンクグループでは、主力事業として、主にインターネットを通じて投資家より小口の資金を募集し、資金需要を有する企業等へ融資を行い、これによって生じた利息等を投資家に分配する融資型クラウドファンディング事業を行っています。

当事業において、当社が営業者として、顧客との間で匿名組合契約を締結し、顧客から出資を受けた金銭を貸付債権に投資することにより運用しています。本業務の遂行に対する報酬として受領する、営業者報酬、及び、債務者から直接受領する、貸付債権に関しての融資事務手数料が主な収益となっています。

営業者報酬、融資事務手数料においては、顧客との契約内容に応じた受託業務を提供することが履行義務であり、業務が実際された時点で当社の履行義務が充足されることから、当該時点で収益を認識しています。

4 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

(貸借対照表に関する注記)

関係会社に対する金銭債権・債務

未収入金	238,098 千円
未収収益	214,540 千円
短期貸付金	456,577 千円
未払金	435,321 千円
未払費用	44,241 千円
短期借入金	490,000 千円

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産の発生は、減価償却限度超過額の否認、未払事業税等であり、2,891 千円の繰延税金資産を計上しています。

(一株当たり情報に関する注記)

1株当たり純資産額	5,818,296 円 63 銭
1株当たり当期純利益	1,663,246 円 85 銭

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(当期純損益金額)

当期純利益	101,458 千円
-------	------------